

度会カフェリョクプロジェクト

伊勢茶で地域貢献!

プロジェクトである。ここでは、地域社会研究会の学生がプロデュースし、完成した商品「宇治山田の和紅茶」を販売している。販売を通して、伊勢市内の商店や地域住民と直接関わることができ、自らのスキルを使いながら実践し、活動を継続している。

* TEAM DATA *

メンバー数 : 2名
 活動場所 : 度会町
 実施主体 : 度会町役場
 担当教員 : 藤井 恭子 (現代日本社会学部)
 活動年度 : H28, H29, H30, R01, R02, R03, R04

📣- こんな人におすすめ!

- ・自分のスキルを実践で磨きたい人
- ・地域に出て活動したい人
- ・大学で何かに挑戦したい人
- ・商品開発に興味がある人

月別活動

- (5月) CLL説明会発表
 國學院短期大学との定期交流
- (6月) 浦之橋商店街「軽トラ市」にて和紅茶販売
- (7月) 國學院短期大学との定期交流
 皇學館大学オープンキャンパスにて和紅茶販売
- (9月) まちづくりカレッジin香川
- (10月) 國學院短期大学との定期交流
 浦之橋商店街「軽トラ市」にて和紅茶販売
- (11月) 河崎だいでこ市での販売に向けた打合わせ
 浦之橋商店街「軽トラ市」にて和紅茶販売
- (12月) 「イルミネーション冬のフェスティバル」
 にて伊勢市商店との共同販売
 國學院短期大学との定期交流
 浦之橋商店街「軽トラ市」にて和紅茶販売
 河崎だいでこ市にて和紅茶販売
- (1月) 浦之橋商店街「軽トラ市」にて和紅茶販売
 河崎だいでこ市にて和紅茶販売



1年の活動まとめ・考察 (成果と課題)

今年度も、新型コロナウイルスによる行動制限が緩和され、地域での活動が可能になった。昨年11月からは、「河崎だいでこ市」での販売を開始し、販売の場を増やすことができた。だいでこ市で「宇治山田の和紅茶」を販売させてもらうため、イベントの主催者のところへ直接足を運び、商品の説明・PRを行い、販売交渉を行った。しかし、「出店料」という壁にぶつかった。悩んだ末、会場の設営・片付けをするという条件で承諾をいただいた。当日の動きぶりを見た主催者様が今後の販売を認めてくださり、販売の場を増やすことができた。

昨年9月には、「まちづくりカレッジin香川」が対面形式で開催され、全国の大学が集まった。そこに私たちも参加し「宇治山田の和紅茶」の販売を行った。たくさんの方に宇治山田の和紅茶を購入していただくと同時に、伊勢茶の魅力発信・PRをすることができた。さらに、他大学と交流し他大学の活動を知ること、自分たちの活動に対する新しい発見や他大学の良い部分を吸収することができた。

活動を通して学んだこと

今年度は、新型コロナウイルスによる行動制限が緩和されたことで、シンフォニアテクノロジー響ホールで開催された「イルミネーション冬のフェスティバル」や「河崎だいでこ市」、香川県で開催された「まちづくりカレッジ」など様々な場所で活動することができた。これらの活動を通して、地域住民やお客様とのコミュニケーションの重要性を学ぶことができた。「宇治山田の和紅茶」を販売する中で、一緒に販売する店舗の方やお客様から、たくさんのアドバイスをいただいた。こういった声は、コミュニケーションがなければ生まれてこない。さらに良い商品・活動を提供するには、お客様や地元住民と交流し、皆様の声に耳を傾けることが必要であると学んだ。

担当教員より

現代日本社会学部 藤井 恭子

今年度は制限が緩和された影響で、「宇治山田の和紅茶」の販売の回数も増え、メンバーはさまざまな社会経験を積むことができた。またzoomでのオンライン交流だけではなく、まちづくりカレッジでの対面の交流のおかげで、地域資源の活かし方や学生と地域の関わり方について視野を大きく広げ、自分たちの活動に生かすようになるなど、本学のメンバーたちは地域活動への学びを深め、自分の成長へとつながっていた。

次年度は和紅茶や伊勢茶を活用した新たな内容を考え、実践に移そうとしている。今後の展開に期待している。

成果物 / 制作物

